

「科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会 第6回講演会」

- 【日 時】 2017 年 5 月 29 日(月)
開場 14:10 講演会 14:30-16:50 懇親会 17:00-19:00
- 【場 所】 〒162-0824 東京都新宿区揚場町 2-1 軽子坂 MN ビル1階
インテリジェントロビー・ルコ
JR 飯田橋駅 徒歩3分、地下鉄飯田橋駅 B4b 出口 徒歩 1 分
- 【参加費】 講演会: 個人維持会員:3,000 円 法人維持会員:無料(1社あたり3名まで)
日本生命科学アカデミー会員:無料
非会員:5,000 円 学生:無料
懇親会: 5,000 円(学生:3,000 円)
- 【開催者】 主催: 特定非営利活動法人 科学的根拠に基づく健康寿命を伸ばす会
後援: 日本生命科学アカデミー
- 【プログラム】
- 14:30~14:35 **理事長 ご挨拶**
- 14:35~15:15 **目で見ると動きで見る酸化ストレス**
富田 勉 (株式会社タイムラプスビジョン 代表取締役)
生き物の根本的な仕組みとして、動くこと、動いて絶えず変化していること、そしていずれは動かなくなり消えていくことが挙げられます。そのため生き物は増え、繋いでシステムを維持しています。酸化ストレスもそうした営みに深く関わっています。私は顕微鏡を用いた生命現象の映像化に長年携わってきました。結論があるわけではありませんが、弊社で映像化した「生きている動きの中の酸化ストレス」をご笑覧いただければ幸いです。
- 15:15~15:55 **健康を維持するための基礎研究-生体レドックス反応計測-**
多田 美香 (東北工業大学 共通教育センター 准教授)
活性酸素・フリーラジカルや励起状態の活性種は反応性が高く生体での寿命が短い。そのため、種々の酸化ストレス疾患に関連しているにもかかわらず、活性種の定性・定量分析や時空間計測は難しい。そこで、工学的な視点から活性種が生成・消失する反応に着目した「酸化・還元(レドックス)」反応計測技術を確立し、健康を維持するための機能性評価への応用例を紹介します。
- 15:55~16:10 休憩
- 16:10~16:50 **丸わかり 国の創薬プロジェクト (その1)**
長野 哲雄 (東京大学 名誉教授、創薬機構 客員教授)
生命科学の基礎研究で新たな発見があると、新聞記事などでは紋切り型のように、その応用として「創薬」に役に立つと報道することが多い。大隅先生のオートファジー研究もその例外ではない。しかし、実際は「創薬」への道は極めて遠く、多くの基礎研究は「創薬」に真正面から取り組む事もなく消え去っていく。そのような現状にもかかわらず、国は、社会保障費の高騰で圧迫される国家財政の一助とするため、基礎研究だけではなく、日本の産業発展に資する「創薬」を積極的に推し進める事を方針としており、そのため文部科学省あるいは日本医療研究開発機構(AMED)では「創薬」の言葉は、まるで財務省から予算を勝ち取ってくる打ち出の小槌のような使われ方をしている。その結果、「創薬」を冠する国のプロジェクトは雨後の竹の子のように設置されており、その実態は外からは全く把握できない。今回の講演では「丸わかり 国の創薬プロジェクト (その1)」と題して、国の「創薬」に関するプロジェクトを分かりやすく紹介し、その長所・欠点・問題点などを解説する。

【申込方法】

www.npo-sphle.org からお申込みください。

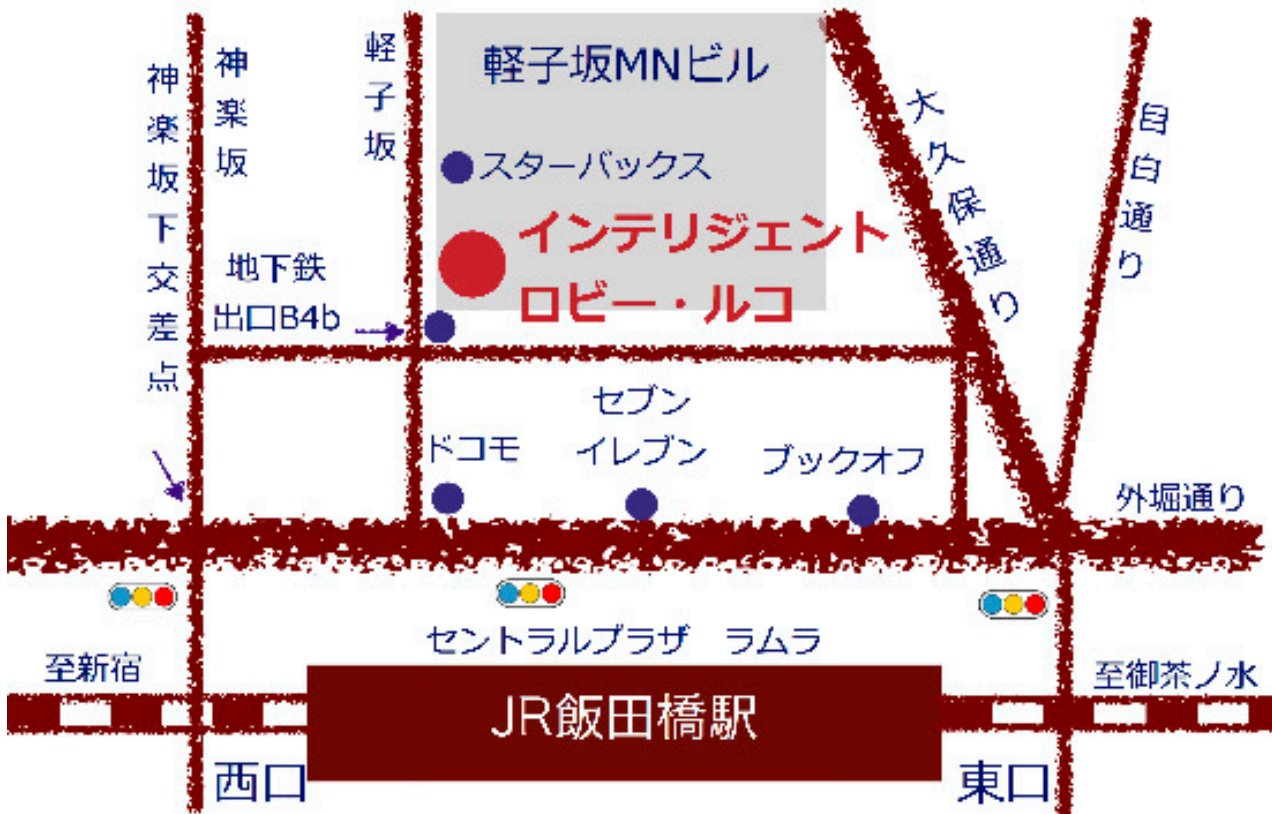
(e-mail または Fax でのお申込みの場合)

件名を「5/29 PH 会講演会参加申込み」とし、お名前、ふりがな、メールアドレス、会員種別、講演会への出欠、懇親会への出欠、ご所属、部署・役職、連絡先住所、連絡先電話番号、連絡先 FAX 番号を、

info@npo-sphle.org または 03-5284-8532(fax)までお送りください。

【会場へのアクセス】

JR 飯田橋駅西口の改札を出て右方向に進み、神楽坂下交差点の横断歩道を渡りすぐ右方向へ進んでいただきドコモショップを左へ曲がると前方に見えるスターバックスがあります。その敷地内にある【軽子坂 MN ビル】(オフィスビル)のエントランスを入っていただき正面受付の左側が当店となります。地下鉄からは、地下鉄出口 B4b 出口にでて頂きますと【軽子坂 MN ビル】の目の前に出ます。



インテリジェントロビー・ルコ

東京都新宿区揚場町 2-1 軽子坂 MN ビル1階

03-3266-9311